

キツネのイラストレーターです。人間は辞めました。

藤村佳朋(竹藤狐)

10年前に京芸に入学し「つちのいえ」をはじめとした井上先生のほぼ全ての授業を履修しました。現在は瀬戸内海の離島に移住しイラスト・デザインや地域振興の仕事をしています。島は瀬戸内国際芸術祭の会場になっており、それに関連した壁画制作を行っています。また、冬の閑散期を活用した着ぐるみ交流イベント「獣ヶ島(けもがしま)」の開催・運営を行っています。

「つちのいえ」では現代美術の文脈にとらわれない、素材やコンセプトに対する基本的な向き合い方を学ぶ事ができました。卒業後は「アートで地域おこし」を行う企画会社に就職し、そこで携わった様々なプロジェクトを理解するのに「つちのいえ」での経験は大いに役立ちました。例えば、畑の草刈り後の草を押し固めた「畑の肥料に還っていく彫刻作品」のプロジェクトがあったのですが、「つちのいえ」での経験のお陰でこの作品のコンセプトや評価されている理由を即座に理解出来ました。島に移住した現在でもこれらの経験が役立っています。



2012年度から参加。2014年構想設計専攻卒業。
瀬戸内海の離島で絵を描いたり、着ぐるみを作ったり、
イベントを主催したりしています。
<https://takefuji-fox.jp>



獣ヶ島集合写真 冬の離島の閑散期を利用して「趣味で着ぐるみ」をされている方の撮影・交流イベント「獣ヶ島(けもがしま)」を開催しています。閑散期の宿や観光施設を活用し、島の経済を回す事を目指しています。



高松花市場壁画 高松中央卸売市場からの依頼で制作した壁画です。全長約20mほどあります。「花言葉」をモチーフにした絵巻物仕立ての壁画になっており、通行人が楽しみながら香川県内で栽培されている花について知る事ができます。